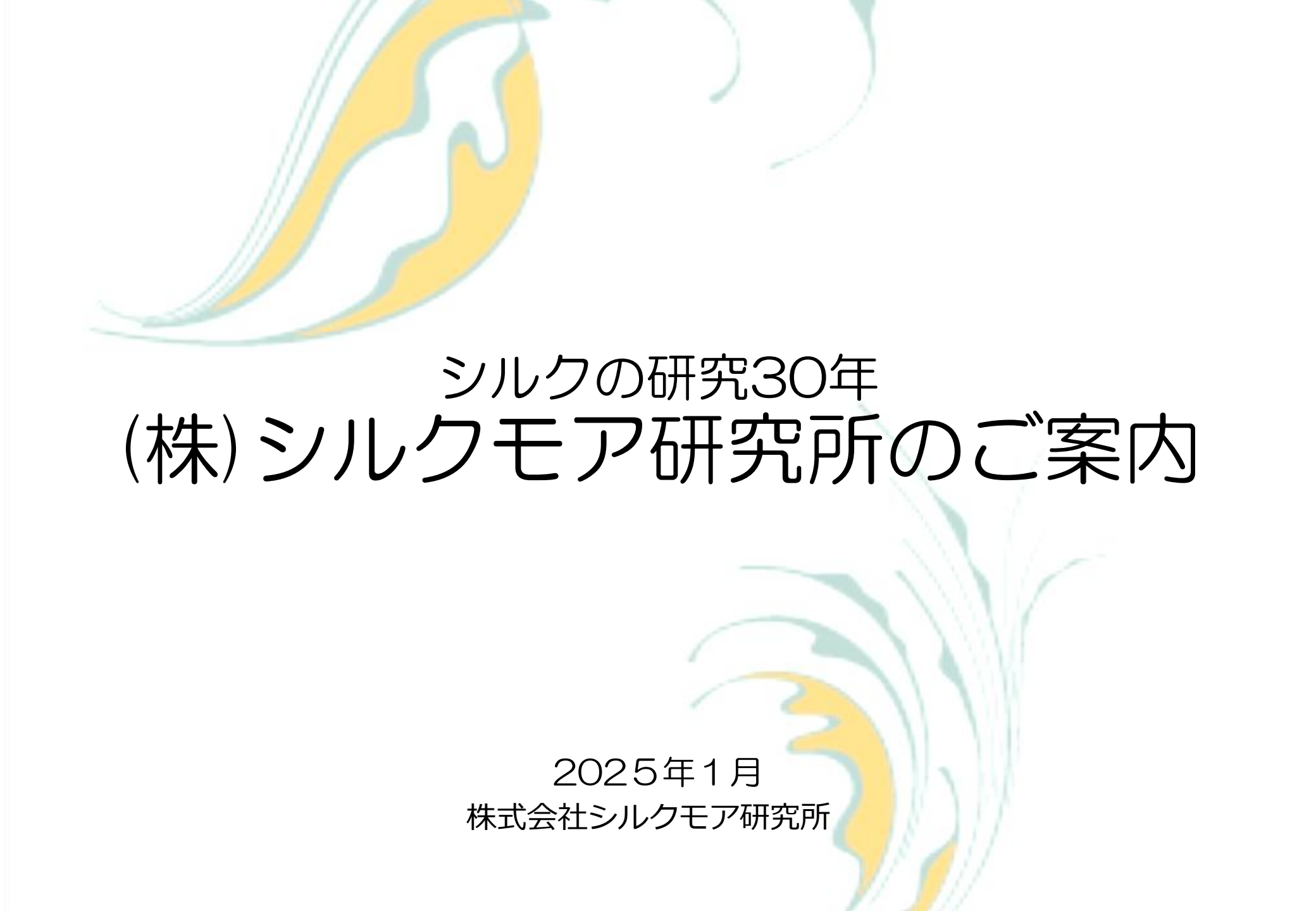




シルクの研究30年 (株)シルクモア研究所のご案内

2025年1月
株式会社シルクモア研究所

目次

I. 会社概要	・ ・ ・ ・ ・	P.2~5
II. 製品のカギは[生シルク発酵液][カイコサナギ油]		P.6
III. 生シルク発酵液	・ ・ ・ ・ ・	P.7~8
IV. カイコサナギ油	・ ・ ・ ・ ・	P.9~10
V. OEM/ODM	・ ・ ・ ・ ・	P.11

「生シルク」「生シルク発酵液」は弊社の登録商標です。

I. 会社概要①

30年に渡るシルクの研究を通じて、日本で唯一、絹糸腺を用いたスキンケア化粧品を開発・製造・販売している会社です。

■設立 昭和33年10月3日

■資本金 1,000万円

■代表取締役 大関孝浩

■事業内容

1. オリジナル化粧品原料の開発

- ①「生シルク(絹糸腺)エキス」→2018/5月製造品まで使用
- ②「カイコサナギ油(カイコ脂質)」
- ③「生シルク(絹糸腺)発酵液」→製法特許取得。上記①をリニューアル
- ④「ホーネットシルク水溶液」→国立研究開発法人より特許許諾済み

2. 化粧品の製造・販売

- ①保湿クリーム
- ②美容石鹸

「生シルク」は弊社の登録商標です。

I. 会社概要②_沿革

昭和	33	年	10	月	健康食品販売会社 株式会社モア アンド モア 設立
	60	年	4	月	シルクタンパク質の美容・健康効果に関する研究開始
	62	年	4	月	シルクを生み出す蚕の「絹糸腺」に関する研究開始
平成	4	年	8	月	絹糸腺を利用したスキンケアの販売開始
	9	年	4	月	本店所在地を東京都武蔵野市から東京都中野区に移転
			6	月	カイコサナギ油を利用した美容石鹸の販売開始
	13	年	8	月	絹糸腺の殺菌作用に関する特許（特許第3219401号）取得
			11	月	本店所在地を東京都中野区から埼玉県越谷市に移転 社名を「株式会社シルクモア研究所」に変更
	14	年	11	月	化粧品製造業許可（11CZ009094）取得 絹糸腺を利用した化粧品の自社製造開始
	17	年	11	月	化粧品製造販売業許可（11COX00048）取得
	28	年	11	月	自社販売ブランド「silk serico(シルクセリコ)」での販売開始
	30	年	5	月	絹糸腺発酵液の製法に関する特許（特許第6333933号）取得
			8	月	農水省「シルクの新たな利用に関する研究会」事業者メンバー
令和	元	年	7	月	産学官共同プロジェクト「全国シルクビジネス協議会」新用途分科会の運営委員に就任
令和	4	年	4	月	農水省「カイコテクノロジーコンソーシアム」の研究委託先になる
令和	4	年	7	月	国立研究開発法人（農研機構）からスズメバチシルク水溶液の特許利用許諾を受ける

弊社のお客様



乾燥肌
デリケートな肌
×
乳幼児～大人



〇〇〇不使用
の製品はあるの



クリーム



固形石鹸

I. 会社概要③_取扱製品

現状は2種類

1. 「生シルク発酵液」を使用した保湿クリーム
2. 「カイコサナギ油」を使用した高級美容石鹸

★2025年夏に「生シルク発酵液」使用の化粧水を投入予定

1. 保湿クリーム



■製品特徴

シルクタンパク含有のクリーム

- ①肌にハリとツヤを与え滑らかにする。
- ②皮膚の水分・油分を補い、潤いと柔軟性を保ち、皮膚を乾燥から守る
- ③合成酸化防止剤・香料・着色料不使用
- ④化粧下地や美容クリームとして

2. 高級美容石鹸



■製品特徴

- ①肌の潤いを保ち、キメを整えてハリとツヤを与える
 - ・洗い上がりはツッパリ感のない、しっとりした仕上がり
 - ・継続使用により、肌水分率も向上
- ②合成酸化防止剤・香料・着色料不使用
- ③「カイコサナギ油」の特徴を活かす絶妙の成分配合
 - ・「日本一の石鹸マイスター」と呼ばれている、美容石鹸匠による配合
 - ・様々な成分配合が可能な「粹練り」製法へのこだわり

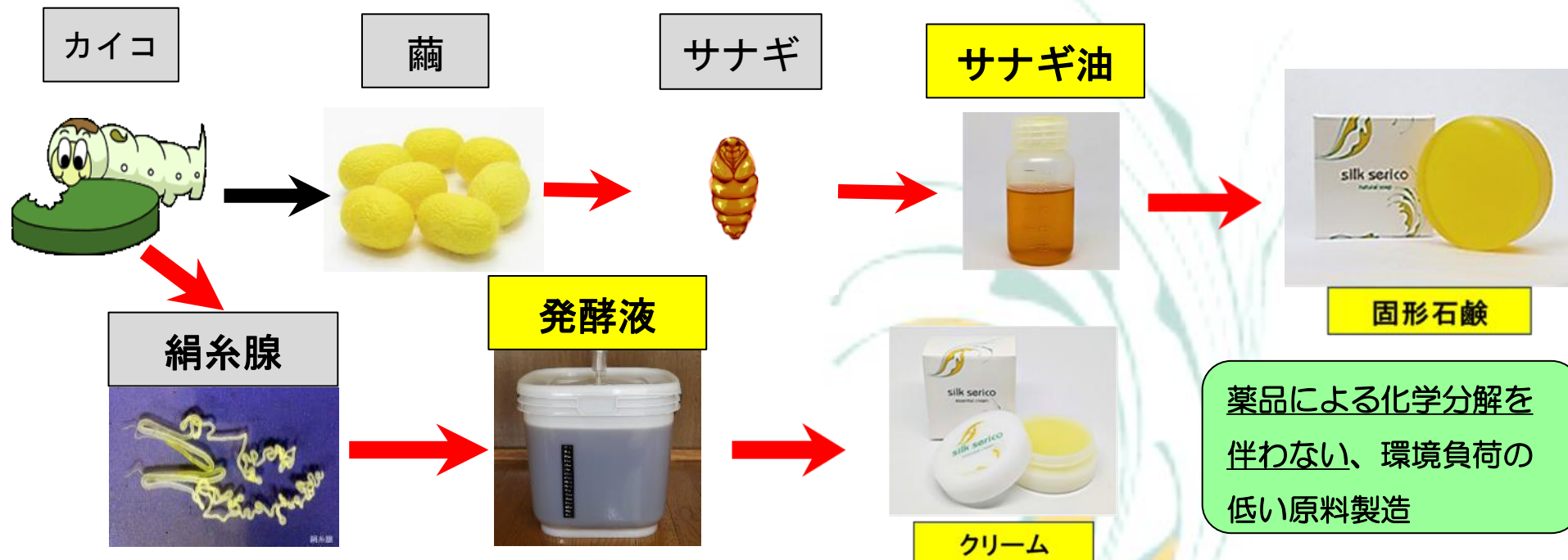
Ⅱ. 製品のカギは「生シルク発酵液」「カイコサナギ油」

1. 生シルク発酵液

- ・絹糸腺を「発酵」させることでアミノ酸量が大きく増加し、低刺激で肌の保湿性効果を高める。
- ・ローション／シャンプー／トリートメントへも展開可能な汎用性。
- ・成分名称は「サッカロミセス(絹糸腺エキス/炭酸水素Na)発酵液」で、製法特許を取得済み。
- ・通称名として「生シルク発酵液」で商標登録済み。

2. カイコサナギ油

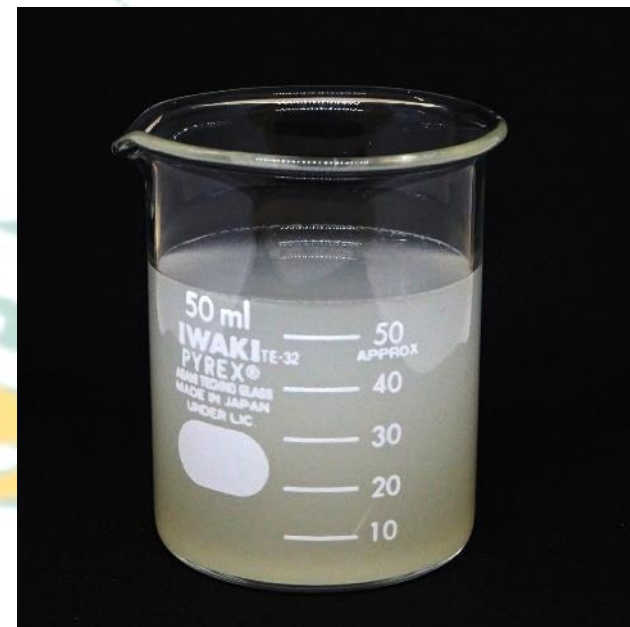
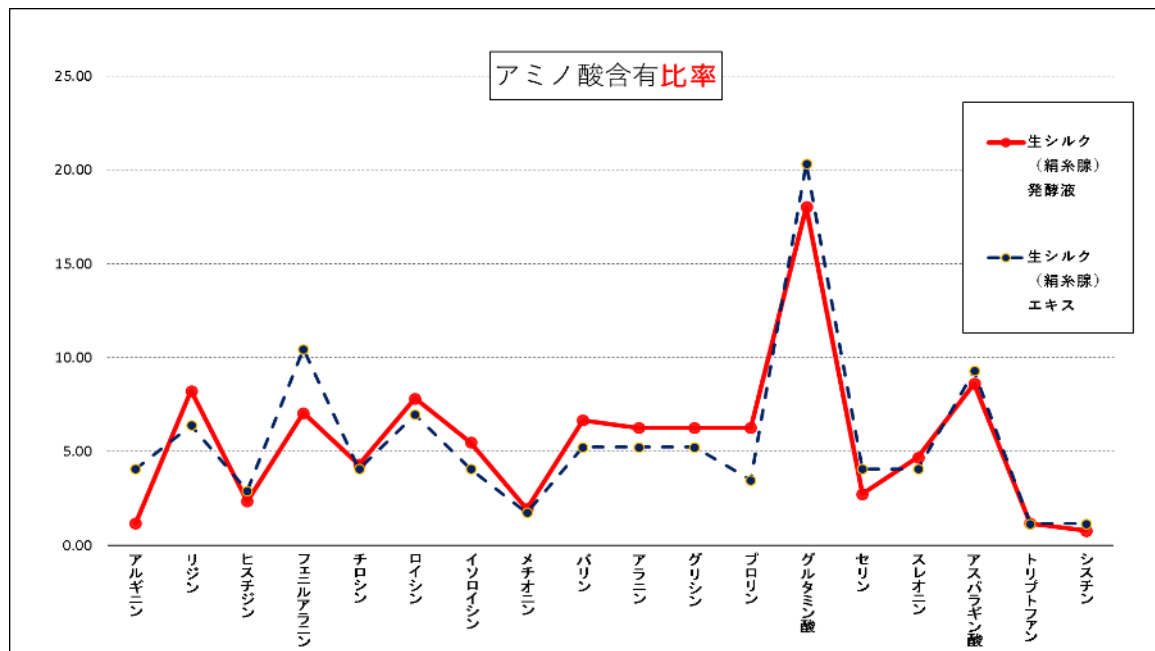
- ・肌への刺激性の低い不飽和脂肪酸類を約70%含み、保湿性・代謝活性・肌への浸透力が高い油脂。
- ・優れた保湿性により、石鹸は医療現場の業務用品としても採用されている。



Ⅲ. 生シルク発酵液①

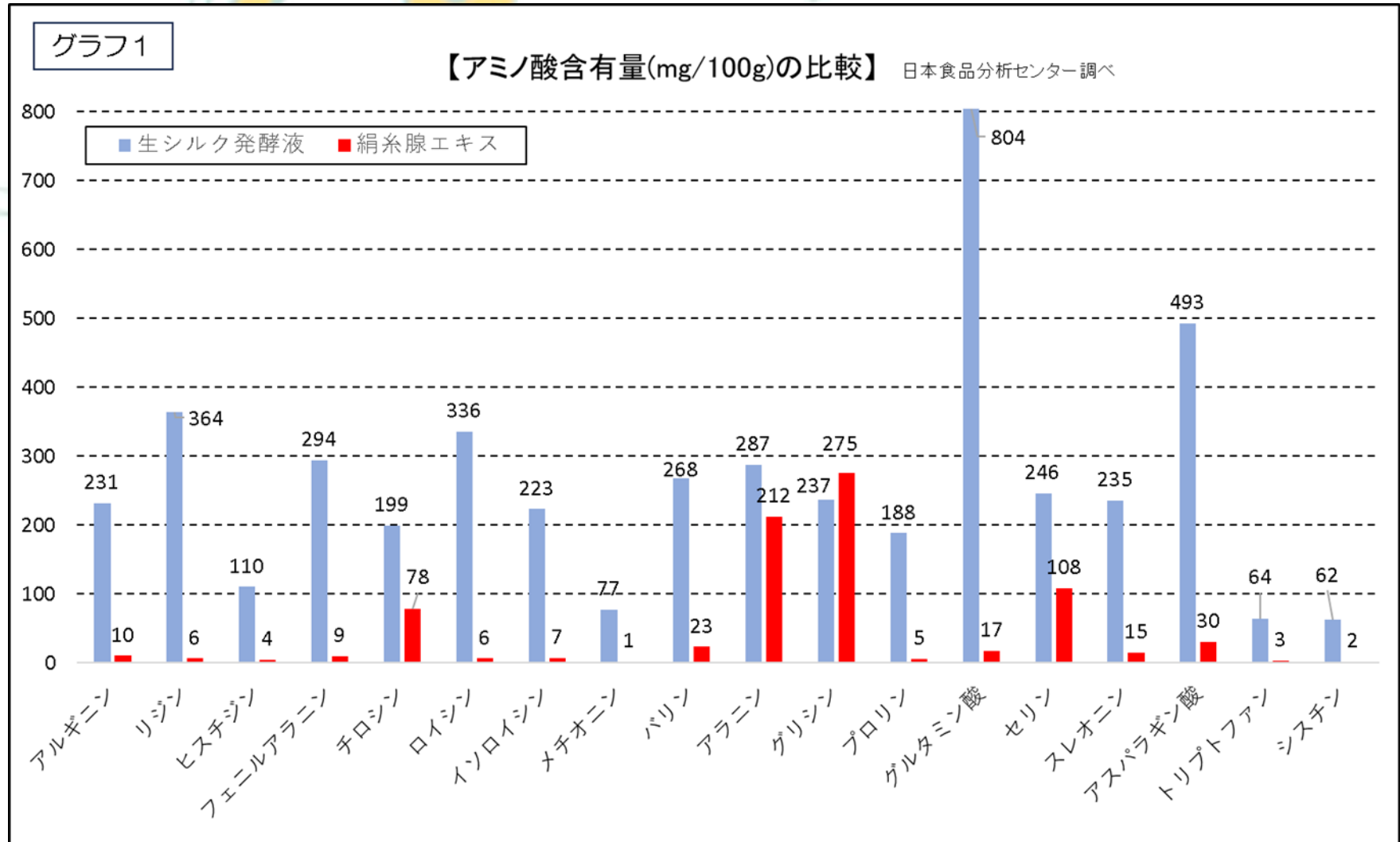
■特長

- 乳白色の液体で、絹糸腺に含まれる**液状シルク（生シルク）**のタンパク質を酵母を用いて**発酵させ、アミノ酸を抽出**したものです。
- シルク由来アミノ酸（18種）の含有比率は従来の生シルクエキスとほぼ同じ【下記グラフ】で、
「肌の水分蒸散を抑えて、潤いと柔軟性を保つ」エモリエント効果をより高める働きがあります。
- 肌の表面はスベスベした触感になり、石鹸等で洗っても触感は維持されます。



Ⅲ. 生シルク発酵液②

■ 「発酵」によりシルク由来のアミノ酸量が大きく増加



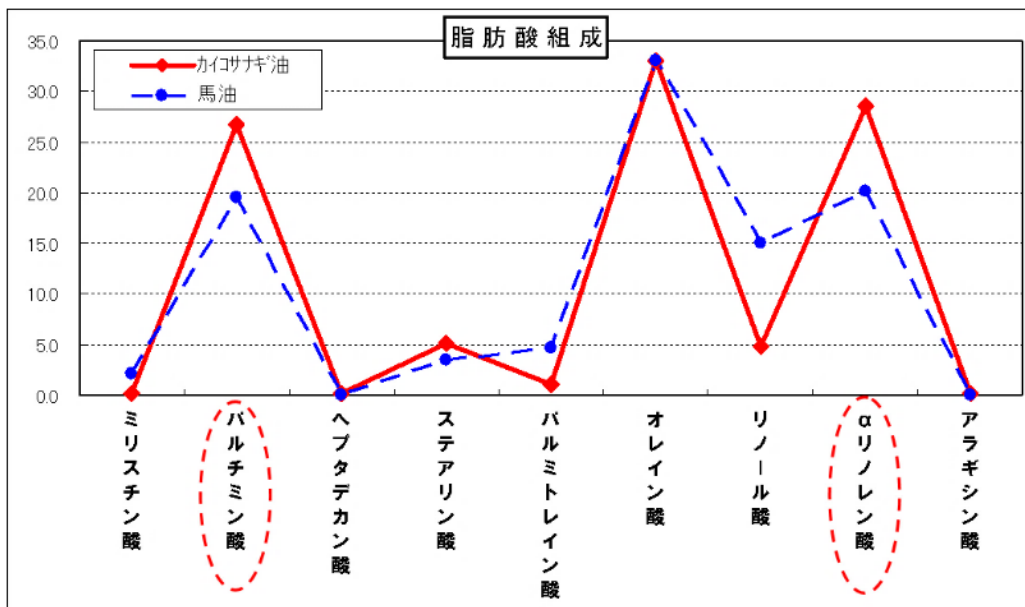
Ⅳ. カイコサナギ油①

■特徴

保湿効果のみならず、細胞レベルから美肌作りを促す成分が豊富です。

●その中でも体外からの摂取が不可欠で、肌の水分保持・バリアを担う材料となる α リノレン酸の含有量は脂肪酸組成の約30%と豊富です。

●また体内のビタミンAを安定化させることにより、皮膚のアンチエイジングに効果があると言われるパルチミン酸も豊富です。



■トピック

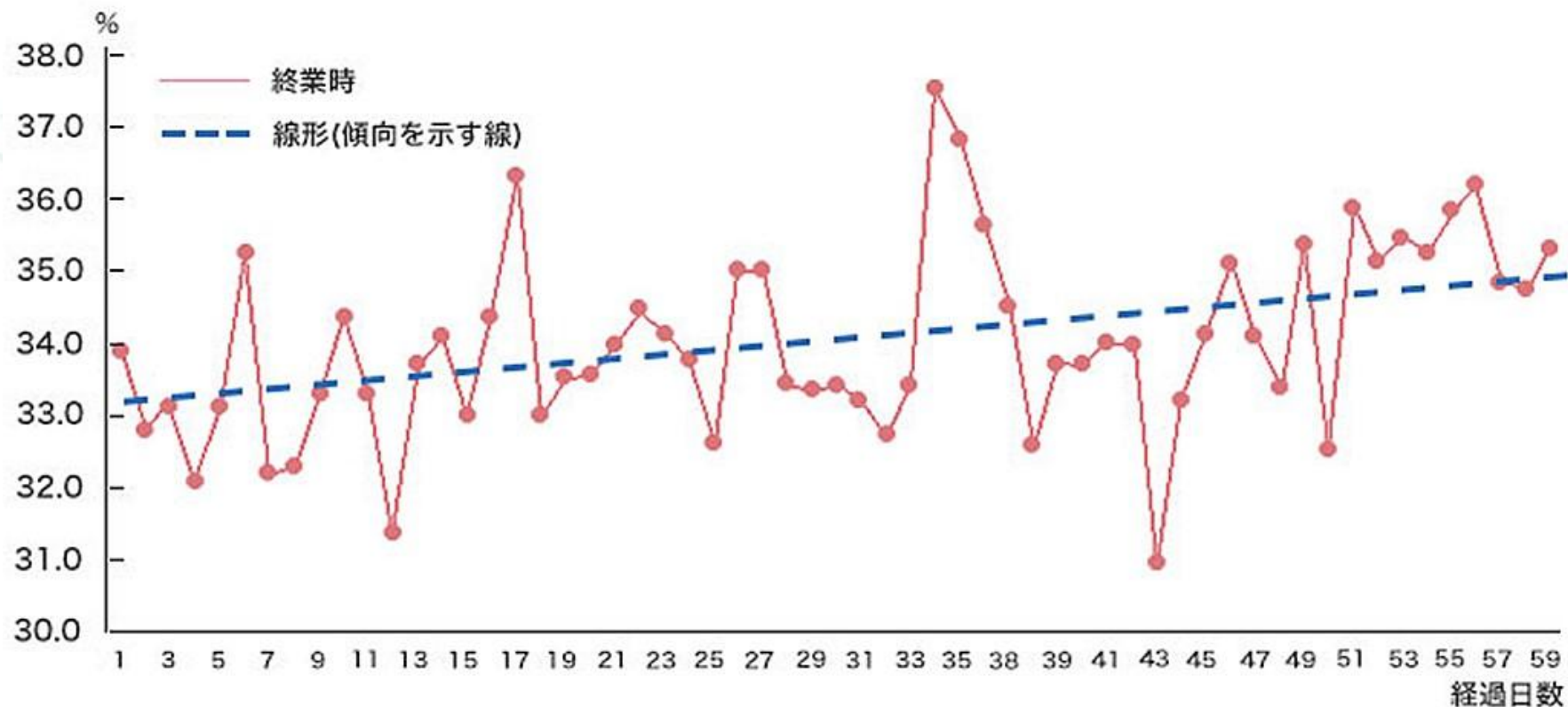
令和4年度より農研機構

「カイコテクノロジーコンソーシアム」にて、
サナギ油の新たな化粧品原料開発を受託

Ⅳ. カイコサナギ油②

固形石鹸は継続使用で肌水分値が上昇

看護スタッフ終業時の平均肌水分値推移



※実証実験概要

1. 期間：2017/2/6より60日間
2. 対象：看護スタッフ15名
3. 使用条件：就業中の手洗いは全て当社ソープを使用

4. 肌水分計測

- ① 「手の甲」を肌水分計で計測
- ② 計測タイミング・・・終業時（業務終了後）

V. OEM/ODM：小ロットでもご相談下さい

原料素材生産者様と六次産業化のお手伝いもしています。



配合開発・製造など、業許可を伴う部分は弊社



- ・絞り込んだターゲット層から
- ・地元から
- ・小ロットから